WS005 健やかな超高齢社会を目指して
ー老年的超越の理論と応用

企画者	(独行)東京都健康長寿医療センター	増井 幸恵
司会者	(独行)東京都健康長寿医療センター	増井 幸恵
話題提供者	大阪大学	権藤 恭之
話題提供者	立命館大学	富澤 公子
話題提供者	Uppsala University	Wadensten, Barbro #
話題提供者	(独行)東京都健康長寿医療センター	増井 幸恵
指定討論者	(独行)東京都健康長寿医療センター	高橋龍太郎 #

概 要

日本の平均寿命は2055年には男性83.7歳、女性90.3歳になると予測されている。このような「超高齢社会」において人々が健やかに生きるためには、成人期と同じ生活を維持することが幸福につながるとする現代の高齢期の適応理論とは異なる視点が必要である。高齢期全般の精神的発達を論じる老年的超越理論は、加齢に伴い、参加やつながりの意識の源泉が客観的・物理的・社会的な基準から主観的・非物理的・個人的な基準へシフトすると考える。この新しいパラダイムは超高齢社会における心理的適応を考える上で重要な示唆を与える。本企画では、老年的超越理論の位置づけ、日本への適用可能性、そして応用について、実証データに基づき検討する。まず、権藤が、高齢期全般の心理的適応における老年的超越理論の位置づけを、次に、富澤、増井が、非都市部、都市部のデータから老年的超越理論の日本での適用可能性を、最後にWadenstenが、老年的超越理論の看護・介護場面への応用を、検討する。